

浅耕播種を活用した 抵抗性スズメノテッポウ防除技術



抵抗性スズメノテッポウがまん延した麦作圃場

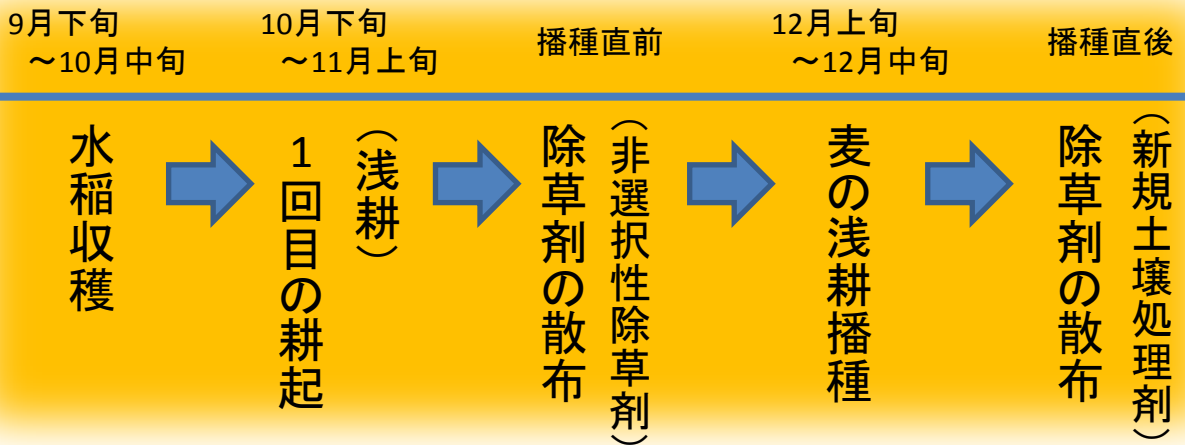
除草剤が効かないスズメノテッポウがまん延して困った…
そんな時は「**浅耕播種**」を活用して防除しましょう！

浅耕播種とは？



浅耕播種とは、耕起深を5cm程度に浅くして播種する方法です

水稲後での作業の流れ



作業のポイント

- 収穫が遅くならないように水稲は**早生~中生品種**を栽培します。
- 水稲収穫後は圃場を乾かすために、すぐに**弾丸暗渠**を行います。
- 1回目の耕起は、できるだけ早い時期に**浅耕**で行います。**土塊が小さくなるように**速度やロータリを調節します。
- 麦播種前にはスズメノテツポウが大量に発生しているので、**非選択性除草剤**で防除します（表1）。
- 麦の播種時期は慣行よりも**遅く**します。播種量は多めの10kg/10a程度にします。
- 麦は**浅耕播種**で行いますが、**播種深度**は慣行と同じにします。
- 麦播種後は**できるだけ早く**効果の高い土壌処理剤を散布します（表2）。
- 施肥、麦踏み、土入れは慣行と同様にします。

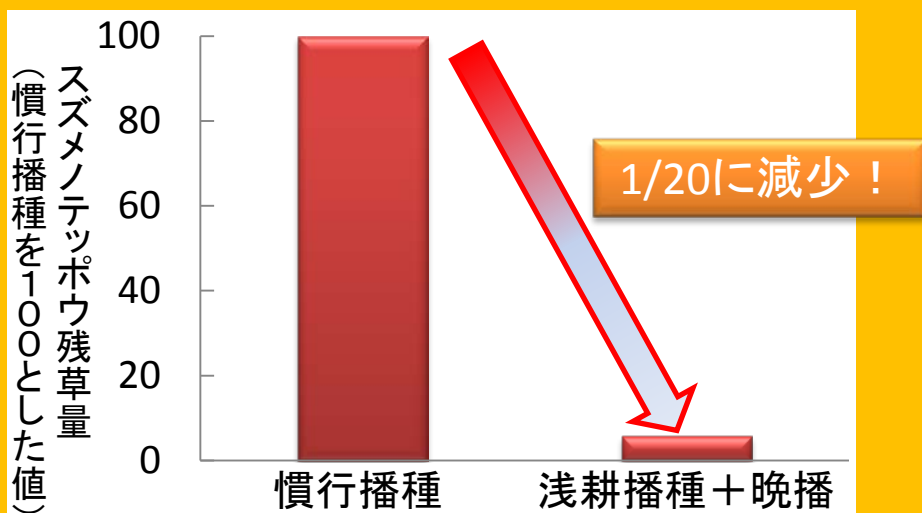


図1 慣行播種と浅耕播種+晩播のスズメノテツポウ残草量の違い

注1) 慣行播種は11月24日、浅耕播種は12月17日に播種

注2) 非選択性除草剤はラウンドアップマックスロード、土壌処理剤はムギレンジャーを散布

大豆後での作業の流れ

11月中旬
～11月下旬

播種直前

12月上旬
～12月中旬

播種直後

大豆収穫



除草剤の散布
(非選択性除草剤)



麦の浅耕播種



除草剤の散布
(新規土壌処理剤)

作業のポイント

- 大豆収穫後の耕起は行いません。
- 麦播種前にはスズメノテッポウが大量に発生しているので、**非選択性除草剤**で防除します(表1)。
- ロータリの尾輪を**大豆畦部分のみ**に当たるように調節し、耕起しながら同時に**一工程**で播種します(図2)。
- 麦播種後は**できるだけ早く**効果の高い土壌処理剤を散布します(表2)。
- 施肥、麦踏み、土入れは慣行と同様にします。

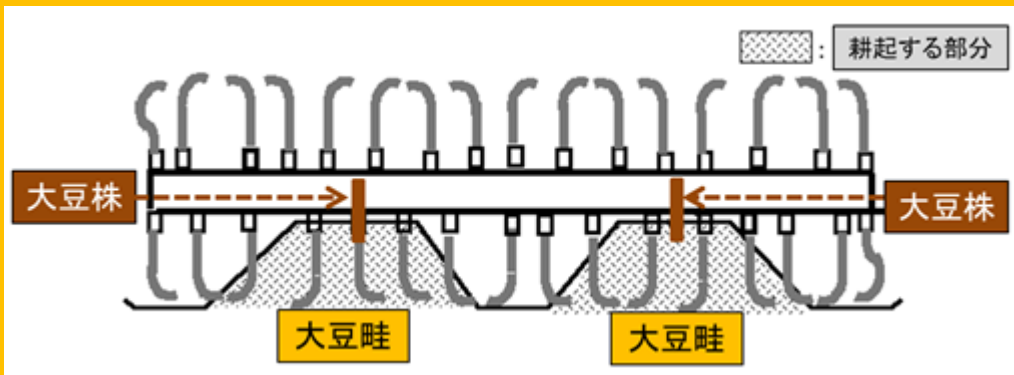
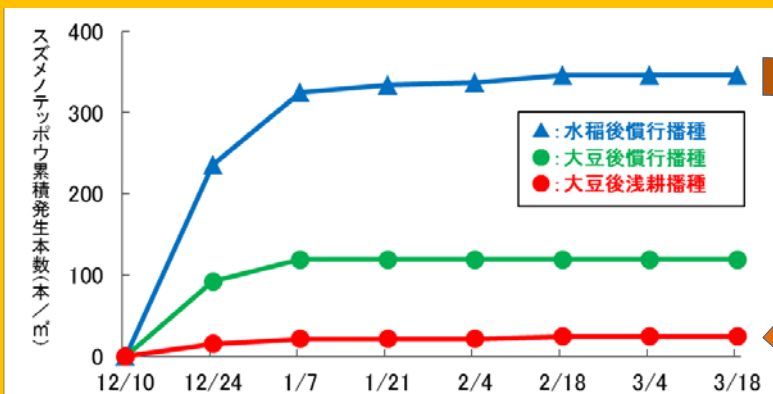


図2 大豆後の浅耕一工程播種の模式図



1/15に減少!

図3 スズメノテッポウの発生本数の違い

有効な除草剤

表1 麦播種前に使用できる
主な非選択性除草剤

三共の草枯らし
サンダーボルト007
タッチダウンiQ
バスタ
プリグロックスL
ラウンドアップマックスロード

表2 抵抗性スズメノテッポウに
効果の高い土壌処理剤

バンバン乳剤
ボクサー
ムギレンジャー乳剤

注1)並びは50音順

注2)2011年12月時点での登録内容

長期的に低密度に管理するためには

- ・ 浅耕播種
- ・ 非選択性除草剤と土壌処理剤との体系処理



必須ポイント！

● 水稲、大豆、麦をブロックローテーションしている場合

- ・ スズメノテッポウの発生が多い圃場に優先的に大豆を作付けます。
- ・ 以降は2～3年に1回の割合で大豆を作付けます。
- ・ 水稲後は最初の1～2年のみ晩播すると効果的です。

● 水稲と麦の二毛作の場合（大豆を作付けしない場合）

- ・ 十分に発生量が少なくなるまでは浅耕播種と晩播を組み合わせます。
- ・ 以降は浅耕播種だけでも大丈夫です。

本パンフレットは農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「麦省耕起播種技術を利用した除草剤抵抗性スズメノテッポウの持続的総合防除技術の開発」で得られた成果の一部です。

問い合わせ先

●全般について

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 筑後・久留米研究拠点
〒833-0041 福岡県筑後市和泉496 Tel 0942-52-3101

●浅耕播種について

福岡県農業総合試験場 筑後分場
〒830-0416 福岡県三潴郡大木町八町牟田1003 Tel 0944-32-1029

●除草剤の利用方法について

財団法人 日本植物調節剤研究協会 福岡試験地
〒830-0112 福岡県久留米市三潴町玉満227-13 Tel 0942-54-9617